

テーブル

2

テーマ

(案)

シニアが気軽に立ち寄れる場
(宮前区版道の駅?) をつくってみよう!

① メンバー

② 解決したい課題や実現したいことを知ろう!

エンジョイシニア文化祭開催の経緯

宮前区が30年、40年後
どんなまちであって欲しいか?

シニア向けの取組が必要と考え、
2年前に「エンジョイシニアの
大文化祭」というイベントを企画

【出展者の募集方法】

- ・ Facebookの掲示板で声掛けし、メッセージでやり取りした
- ・ 40代くらいの方が集まった
- ・ 布小物、和菓子・お茶、指ヨガ、耳ツボピアス、フラワー・お花のアレンジ、漢方、うなぎ
- ・ ステージとして、ミュージックケア、笑いヨガ等

【場所】

- ・ 特別養護老人ホーム（フレンド神木）の地域交流スペース
- ・ フレンド神木は駅から離れているが、駅前は、すでにたくさんのイベント等がある。駅前までいなくても自分の家の近くで何かイベント等があるといいなと思った

【お客さんの層】

- ・ 近所に住んでいる方や、フレンド神木の利用の方等

【広報】

- ・ チラシを1000枚以上根性で！ポスティング
- ・ 山坂が多かった・・・
- ・ チラシをもってきてくれた人がいて嬉しかった

【その後の展開】

- ・ この取組が実績となって、他の包括でも敷居が下がって、地域交流スペースの活用の事例になって広まってほしいという話を当時していた
- ・ 麻生区で同様の取組をやろうとしていたがコロナで中止になってしまった

Q：準備とか後片付けとか期間はどれくらいかかる？

A：今回は会場の都合で2ヶ月後にやると決めてスタートした。終わった後は報告書を書くぐらいで、それほど負担はない。イベントの規模によっては半年～1年前から準備がかかるものもある

Q：出店者はどんな話があった？

A：子ども向けのイベントはよく出ている方で、シニアのイベントに出店したのは初めてという方が多く、事前に相談や質問もあったが、実際やってみたら、子ども向けイベントもシニア向けでもそんなに変わらずに楽しく参加できたという声が多かった！運営側としては、高齢者の方が転ばないかなどの懸念もあったが、出店者の方も一緒になって気遣ってくれて、大きな負担がかかったということもなかった

Q：参加者の声は？

A：ここに老人ホームがあることを知らなかったという声があった。存在をアピールしたい施設とのマッチングもありだと思った

Q：何かしたいと考えている40～50代と、シニアの楽しみを享受するためのマッチングは素敵で、納得いく人生、納得のできる人生というキーワードにとっても惹かれるが、一過性の楽しみを提供するってということと、納得できる人生を過ごすというところの両立に無理があるのかなと思うが。

A：自分の経験があるのがイベントだったので、イベントをやってみた。その日1日ということではやりやすさもあったが、一過性に終わってしまったとは思っていないと思っている

シニアが気軽に立ち寄れる場 (宮前区版道の駅?) をつくってみよう!

② 解決したい課題や実現したいことを知ろう!

エンジョイシニア開催を踏まえて
「宮前区版道の駅」を通じてやりたい・実現したいこと

【運営側のモチベーションを保ちたい】

- ・とても楽しかったが熱量を全部使いきってしまって、継続ができない
- ・仕事や子育て、介護の隙間時間で地域のことをやりたいと思っている人がいる
- ・負担が大きいと苦しくなりやりたくなくなってしまう
- ・どうしたら運営の負担が軽くなるか。
- ・人を増やせばいいのか、少ない人数で回せるものにするのか

【一過性のものではなく継続できるものにしていくためには?】

- ・ずっと続けていくというイメージの中で道の駅があった
- ・継続するには常設した箱が必要? それとも単発のイベントのまま、何か継続できる方法がある? 皆さんの意見を聞いて考えたい

【シニアの人たちに何を提供する?】

- ・健康な状態で長く暮らしていくにはコミュニケーションや、情報収集ができるということが大事だということがわかった。それが続けられる場を作りたいというのがスタート

③ 課題解決のアイデアを出し合おう

どんな人(シニア)が困っている?

- ・認知症だけど体は元気な方や、車いすで移動が難しい方など様々な方がいる。既存の介護保険のサービスで収まりきらない方を支えてもらえる仕組みがあるといい。移動図書館のように近くまで出向いてきてくれるとそこまではいけるかもしれない。
- ・市民館でのカフェや分館での傾聴ボランティアなどのサークルは、コロナで全部ストップになってしまった。シニアで、自分たちが老後に困らないよう、お弁当屋さん等をしてきたが、仲間たちの中には老人ホームに入って終の住処が宮前区でなくなった人が多い。終の住処を自分の家で過ごしたい。若い人とつながり、活動を続けていきたい。

どんな場があるとよい?

- ・販売だけでなく将棋や囲碁等ができる場も欲しい
- ・おしゃべりしてほっと、安心できる場
- ・よろず相談ができる場
- ・キッチンカーでベンチと机を出しお茶が飲める場
- ・老人ホームに入る手前の方にとって地域で介護予防につながる場
- ・同じ場所、同じ曜日・時間、同じ仲間が集う場所
- ・1か所だけに収まらず色んなところに出向く、移動図書館のような場がよいのでは

シニアが気軽に立ち寄れる場 (宮前区版道の駅?) をつくってみよう!

③ 課題解決のアイデアを出し合おう

ラウンドテーブルメンバーからのアドバイス

【つながれると良い地域の資源】

●人やスキル

- 宮前区の中にはハンドメイドをやっている、**自分の作品を発表するための場所を探している人**がいる。区内全域でそのようなことができるということを発信しては。

【地域で続けるためには場所・人・時間・スキルが流動的だと良い】

- 常設でやれて、きちんと収益も上がってというのは企業、プロの仕事。それを地域がやるのであれば、**実施する時間、人、能力が流動的**であって良いということなのでは? 様々な資源の情報があつた上でその時にどの資源を使うか決めるという形でやれるのが良いのでは。
- 1か所だけに収まらず様々な場所に出向いて**認知してもらい、その場その場で協力者を募っては。

【テーマについて】

- 「納得のいく人生」とは何か? をさらに深掘りしていけると良い

●場所や空間

- 地域包括支援センターとしては、何かをやろうとしたときに、自分たちで運営をやり、中身も自分たちが演者になってやるとなると大変。**場所を貸せば良いだけなのはありがたい**。この取組がきっかけで、フレンド神木では、今後の活用にも備えて地域交流スペースの利用基準をつくった
- 免許返納で空いた自宅の駐車場**でガレージセールをしては? 所有者としてもそこを活用して少しでもお金になったらいい。そういった場所があることは知っているけど、個人情報なので、つなぎ方が難しい。

【既存の取組や活動とコラボレーションできると良い】

- 営生分館の「分館祭り」**は、企画運営会が高齢化している。ぜひそこに入り込んでやってほしい
→通常は営生分館で物販などはできないが、既存のイベントと連携すればできることもある。営生分館の学習室や子どものスペースは比較的空いているので活用してはどうか。
- コミュニティカフェも公園体操も**宮前区には50ヶ所ぐらいあって、他の区より多い。コラボすれば、そのカフェや体操側にも新しいテーマが加わって活性化する。掛け合わせは、面白いかもしれない。公園は飲食ができないので、公園体操をやってから、違うコミュニティカフェのようなところに移動するなど。
- コンビニ程度の大きさで提供している**デイサービスの事業者**があり、週に1回のフィットネス等をやる人たちが集まっている。そこに outlet してみると新しいのでは? 実際にデイサービスで八百屋さんをやっている事例がある。

ミーティング1のまとめ

【地域の既存の取組と連携できると良い】

- 地域には色々な取組があるので、冠だけを決めて、**地域の団体と協力して実施**すれば、運営の負担は軽減されるかもしれない
- 1ヶ所から始めて**徐々に増やしていき**、その場で、参加していただける運営の方たちも一緒に集いながら、**細く長く続けられるもの**が宮前区の場になったらいいと思う

【大きなイベントではなく、小さくても継続できる取組が大切】

- 継続することが大切で**、大きなイベント、お祭りを継続するとなると大変なので、構えてしまったところがあった
- 小さくてもいいので**続けることが大事**

【身近な場所であることが大事】

- 高齢者が集まりやすいよう、それぞれにとって**身近な場所でやる**ことが大事
- 移動図書館をイメージしながら、様々なところを日にちを決めて回っていく。

【コミュニケーションを通じてシニアの悩みの解決につなげたい】

- そこに人が遊びに来ていただけると、**情報提供や情報収集**もできる。
- 生の声を聞ける**ことが一番重要で、課題や悩みがわかってくる。課題や悩みを道の駅で解決できれば良い。解決できなくても、他のところにつなぐようなことをしていきたい